

問 スリムで効率的な組織の構築に向け、忍川の治水対策を例に建設部と都市整備部との統合を説明していたが、具体的にどのような意思決定に時間を要したのか。

答 例えば地元説明会の際、それぞれに所管があり、そこに忠実に説明しようとする、住民にとって聞こえのよい説明にならないのではないかと、明にすることがあった。地元説明会は概ね理解をいただいているが、そこに至るまで様々な調整があった。それに要する時間と労力はコストであり、出来るだけ排除することが効率化に資するものと考ええる。

○令和3年度行田市一般会計補正予算(第9回)

問 過誤納金還付金に関し、過去の還付の傾向は。また、それをどのように分析しているのか。

答 過去の状況は、多い年で約4800万円、少ない年で約2700万円の還付があった。法人市民税の占める割合が多く、その理由は、法人市民税には予定申告と確定申告とがあり、予定申告で納税した額よりも、決算時の所得が

少なくなった場合、還付が生じることによるものである。

問 修学旅行取消料等補助金について、これから修学旅行や林間学校を予定している学校はあるのか、また、既に中止を決定した学校はあるのか。

答 小学校では、林間学校について延期等あったが修学旅行を含め全校で実施済みである。中学校では修学旅行について、8校のうち、7校で修学旅行に替わる旅行含め実施済み、1校が3月に実施を予定している。林間学校については、1校が延期して実施、1校が中止、6校で1月から2月にかけてスキー教室として実施を予定している。なお、今年度は、昨年スキー学校を中止した6校についても計画しており、これら6校については、1年生及び2年生が参加の予定である。

問 債務負担行為補正の外国語指導助手付帯業務委託に関し、令和4年度は何名のALSTを雇用するのか、また、その中でネイティブスピーカーが少ない理由は何か。

答 令和4年度は13名の雇用を予定している。ネイティブ

スピーカーが少ない理由は、応募自体が少ないことに加え、選考時に経験やスキル等を総合的に評価した結果、現在は1名の採用にとどまっているものである。



ALTによる授業の様子

建設環境 常任委員会

3講案 可決

○行田市下水道条例の一部を改正する条例

問 下水道法の一部改正に伴う除害施設に関する引用条項の修正を行っているが、市内には、条例に基づく除害施設を設置している事業所がどれくらいあるのか。

答 条例に基づく除害施設の設置件数は11件である。

問 どのような事業所に除害施設が設置されているのか。

答 11件の内訳については、飲食店4件、病院2件、厨房付きの小売店2件、その他の事業所が3件である。

○令和3年度行田市一般会計補正予算(第9回)

問 通学路安全対策事業

答 6月に発生した千葉県八街市の交通事故を踏まえ、小中学校の通学路総点検を実施したとのことであるが、従来の安全点検とはどのような違いがあったのか。

答 今回の総点検では、点検者として教職員だけでなく保護者、見守り活動をしている地域住民の方々にも加わっていただくとともに、埼玉県が配布した通学路安全総点検実施要領に基づき実施している。この実施要領では、例えば歩道については、整備されているか、歩道が連続しているか、幅員が適切かどうか、また、交差点については、車道と歩道が構造物で分離されているか、見通しがよいかなど、ポイントが細かく示されており、従来と比べ大がかりに実施している。

問 秩父鉄道行田市駅西側の踏切道にグリーンベルトを設置するための負担金を措置しているが、この踏切は拡幅するために用地も取得しており、早期に広げる必要があるのではないか。

答 秩父鉄道に拡幅工事の協議を申し入れたところ、すぐには実施できないとの回答があったため、今回、グリーンベルトを整備することとした。

健康福祉 常任委員会

7講案 可決

○行田市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例

問 学童保育室の場所の変更はあるのか。

答 小学校の再編に伴い、学童保育室について、行田市中



グリーンベルト

央学童保育室を行田市忍学童